

地域人材の育成と地元就業を支援する



かごしまCOC+通信

KAGOSHIMA COC+ NEWSLETTER

創刊号
平成 29 年 7 月

かごしま学卒者
地元定着促進協議会

COC+推進フォーラム 2017「大都市圏に対する地元就業の魅力」を開催

企業人と学生、「鹿児島で働くことの魅力」を熱く語る！

6月5日(月)、鹿児島大学稲盛会館において、200を超える企業経営者・人事担当者及び自治体、COC+事業協働機関の出席を得て開催された。

前半はCOC+参画校と鹿児島県・商工会議所・鹿児島銀行から人材育成と地元就業支援の取り組みの紹介があり、後半は『鹿児島ならではの魅力的就業とは』と題してパネルディスカッションが行われた。パネリストとして、南国殖産(株)西村文孝人事教育課長代理、(株)下堂園・下堂園元副社長、(株)現場サポート福留進一代表取締役、鹿児島大学4年の張本淳平氏、鹿児島国際大学4年の西村未来氏が登壇し、熱心な意見交換が行われた。



＜パネルディスカッション要約＞

○規模の小ささが魅力につながる

都会の企業との競争関係の中で魅力を維持するためには、①学卒者が活躍できる場を積極的に作ること、②従業員の活躍に対して適切な評価がなされること、③ワークライフバランスの取れた持続的就業が可能なことなどに加え、中小企業の多い鹿児島では、「規模の小ささが魅力につながる」ことが指摘された。学生からは、「企業とは、お金でつながるのではなく、思いやエネルギー(熱意)でつながることが生きがいや充実感を実感しやすい」、「中小企業は大企業に比べ、一人の従業員が係わる仕事の種類が多い分、仕事に対する自我関与の強さ、充実感にも

つながりやすい」との発言があった。

以上のような意見から、大企業は一般的に給与が良く福利厚生が充実しているが、鹿児島ではコンパクトさを活かした「経営者と従業員の距離の近さ」で企業魅力を高める工夫が求められる。

○企業と学生の直接接触で魅力を伝える

地元就業の魅力を効果的に学生に届けるには、企業人と学生との直接接触の機会を低学年からもっと増やしてほしいとの要望が出された。

今後人口減少が加速化される地方社会では、「女性や外国人が働きやすい職場環境の整備」は、企業の魅力アップにとって必須と言える。

今回のディスカッションによって明らかにされたことを参考に、これからも様々な機会地元就業の魅力を高めるための議論を深め、学生に対する魅力的な情報発信を継続的に行っていくことが期待される。



○お願い

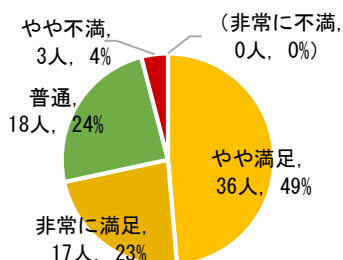
私たちCOC+参画校では「地域マインド」や「地域就業力」の高い人材の育成に向けた教育プログラムを展開しています。プログラム修了生には「修了証明書」を発行することとしているので、企業におかれても社員採用時には、「修了証明書」を持った学生に対して、格段のご配慮をお願いします。

アンケート結果に見る地元企業の期待

～「COC+推進フォーラム 2017」におけるアンケート調査～

「COC+推進フォーラム 2017」では、資料に質問紙を同封して配布し、終了後に回収するという方法でアンケート調査を行い、当日出席した企業関係者の約 6 割にあたる 78 人から回答を得た。いただいた貴重なご意見は、今後の事業推進に役立てていくこととしています。

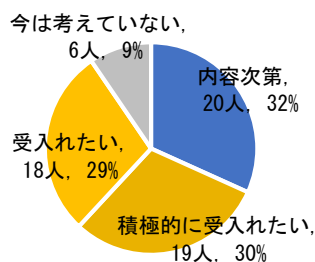
フォーラムの満足度について



「やや満足」及び「非常に満足」と回答した人が全体の72%あり、おおむね満足のいくフォーラムとの評価を得た。「大学の取組がよくわかっ

た」、「パネルディスカッションで生の声が聞けた」等が主な理由であった。一方、「普通」「やや不満」と回答した人は、内容は評価するも、時間配分を指摘するものが多かった。

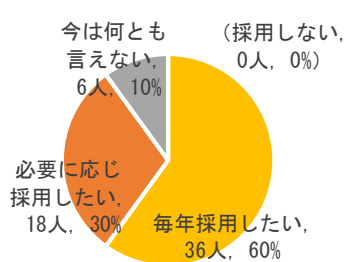
インターンシップの受入について



最も多かった回答は、「内容次第」であり、その理由としては、「仕事内容が多岐にわたり、短期間での理解が困難で資格も必要」などがあつた。

しかし、「積極的に受け入れたい」及び「受け入れたい」と回答した人は全体の59%おり、半数以上が前向きな姿勢であった。

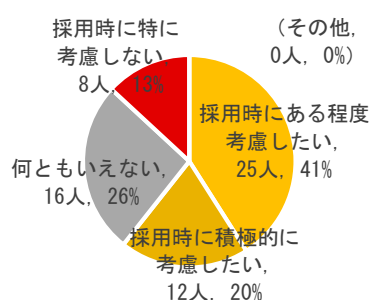
学卒者の採用について



最も多かった回答は、「毎年採用したい」で全体の60%であった。理由として、「企業の持続には必要」「業務拡大のため

等であった。「必要に応じ採用したい」を含め90%の人が採用に前向きであった。なお、「採用しない」と回答した人はいなかった。

採用時における「修了証明書」への対応について



「採用時にある程度考慮したい」及び「積極的に考慮したい」と回答した人が全体の61%で、過半数が修了証明書を採用時の判断

材料としてみなす可能性のあることがわかった。なお、「特に考慮しない」と回答した人は13%おり、「目的と効果が不明」などの理由であった。

○フォーラムの感想や自由意見等について、その一部を紹介します。

- 地元就業について一生懸命な企業の姿を感じた。
- 学生、企業、大学、行政がそろそろこのような機会は他にない。ぜひ今後も継続してもらいたい。
- 企業の取組や学生の意見を知るよい機会だった。
- パネルディスカッションは、参考になるよい意見が出て有意義だった。よく取りまとめられていた。
- 大学の取組はわかりやすく理解できたが、企業がどうPRしているのか、なぜ学生に理解されていないのかをもっと追求すべきではないか。
- 大学や事業協働機関の取組発表はもう少し工夫して、時間を短くしたほうがよい。
- パネルディスカッションはもっと時間をかけて、深掘りしてもらいたい。企業関係者が多かったので、学生の意見をもっと聞きたかった。